

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	1	基本事務事業名	人権啓発地方委託事業	事務事業名	人権啓発活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月27日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田英司		シート作成者名	三橋徹也				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(2)あらゆる場を通じた人権教育・啓発の推進				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。										
				今年度	各種講演会の開催・人権擁護委員とタイアップし各行事において啓発物品配布等を行い、市民等の人権意識高揚を図ります。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	人権問題講演会を市内4中学校で開催します。(対象 市民)														
	啓発物品を購入して、各種行事にて啓発物品を配布しながら、人権意識の高揚を図ります。														
	「人権の花」運動 小学校へ花を贈り、花を栽培することを通じ、命の大切さや相手への思いやりを育ませ、豊かな人権感覚を身につけさせるため開催します。														
	市職員人権問題研修会を開催します。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標					
	人権問題講演会	市内中学校にて開催。開催数・参加人数		回・人	目標		4回・1,400人	4回・1,500人	4回・1,500人	回・1,500					
					実績		4回・1,368人	4回・1,405人							
	市職員人権問題研修会	開催数・参加人数		回・人	目標		4回・150人	4回・150人	4回・150人	4回・150人					
					実績		4回・126人	4回・175人							
	「人権の花」運動	開催数・参加人数		回・人	目標		1回・70鉢	1回・120鉢	1回・150鉢	1回・150鉢					
					実績		1回・70鉢	1回・120鉢							
	DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	人権対策費
		直接事業費			平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考							
			国庫支出金			千円	千円	千円							
県支出金			1,133		千円	1,158	千円	1,340 千円							
地方債					千円	千円	千円								
その他特定財源					千円	千円	千円								
一般財源					千円	千円	千円								
計(A)		1,133		千円	1,158	千円	1,340 千円								
人件費(B)		正職員工数・経費	1.300	人	7,963	千円	0.500	人	3,022	千円	0.500	人	2,981	千円	
		臨時・嘱託職種													
	臨時・嘱託工数・経費	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円	0.000	人	0	千円		
全体事業費(A+B)		9,096		千円	4,180	千円	4,321		千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明				二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権とは、「人が人間らしく生きていくために社会により認められている権利」であり、誰からも犯されることのない基本的人権を保障されています。この事業は社会にとって必要不可欠な事業です。継続して、推進することが大切です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい			
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
CHECK	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	平成20年度から、人権問題講演会を1箇所増やし、市内4中学校で実施しています。人権に関する児童生徒の中から最優秀賞ほかを数年続けて受賞しています。また、市民の関心度が上がる等講演会・啓発活動「人権の花運動」等を実施することで成果が上がっています。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる			
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない			
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる			
CHECK	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	講演会の参加数については、一般市民の参加が低調だったため、今後はより効果的な広報方法を検討し、より多くの方に参加してもらえよう努めると共に、講師の選択等になお一層努力したいと思います。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている					
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない					
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している					
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している					
CHECK	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	各行事実施に当たり、効果的に出来ました。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当			
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない			
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない			
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等				
	当面の課題	講演会等につき、より多くの市民・市職員に参加を促し、人権意識の高揚と公務員としての職責を図りたいと思います。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点							
	改革案と実行計画	人権問題講演会については、市民に対し、ACNの文字放送で周知するとともに、市職員に対し多くの参加を要請します。講演内容について十分検討し、最良の講師を選びたいと思います。「人権の花運動」については、毎年開催し、小学校児童の豊かな人権感覚を身につけさせたいと思います。					社会教育課の人権教育啓発活動と連携を図り、効果的な事業を実施して下さい。							
委員会指摘事項														

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	2	基本事務事業名	人権擁護委員活動事業	事務事業名	人権擁護委員活動事務	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月27日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田英司		シート作成者名	三橋徹也				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	人権啓発活動再委託要綱				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	すべての人々の人権が尊重され、相互に共存し得る平和で豊かな社会の実現。										
				今年度	人権相談所を開設し、市民等の人権を守ります。人権の花運動・人権パレード・街頭啓発等を実施し、市民等の人権意識の高揚を図ります。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	特設人権相談(毎月、市内2会場で2回)開催します。														
	人権なかよしひろば 人権課・人権擁護委員が主催者となり社会福祉協議会・徳島地方務局との共催により、地域の子どもたちを中心に、遊びや交流をととして人権学習の場とします。														
	街頭啓発を量販店等で実施。啓発物品を配布しながら、人権啓発を行います。														
	広報車にて、市内を啓発広報。ACNの文字放送・広報紙等に掲載し、市民の人権意識の高揚を図ります。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標						
	人権相談	毎月市内2箇所で開催	回	目標		24回	50回	50回	50回						
				実績		37回	41回								
	人権パレード	年1回開催	回	目標		1回	1回	1回	1回						
				実績		1回	1回								
	「人権の花」運動	開催数・花贈呈数	回・鉢	目標		1回・120鉢	1回・120鉢	1回・150鉢	1回・150鉢						
				実績		1回・120鉢	1回・120鉢								
予算費目		会 計	一般会計		款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 人権対策費					
DO			平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	274 千円		341 千円		337 千円								
		計(A)	274 千円		341 千円		337 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.600 人	3,675 千円	0.500 人	3,022 千円	0.500 人	2,981 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
全体事業費(A+B)		3,949 千円		3,363 千円		3,318 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	人権擁護委員は、法律で設置が義務づけられており、市民の基本的人権が侵犯されることがないように監視し、また、侵犯された場合には、救済のための支援等に努め、人権思想普及高揚努めています。人権擁護委員に全力で支援する必要があります。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	人権擁護委員会活動を支援することにより、市民の基本的人権を擁護し、人権意識の高揚を図り、安心した住みよい町づくりが実現します。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	人権擁護委員が特設人権相談を開設していると共に、ボランティアで、学校・保育所関係・社会福祉施設等へ訪問し、積極的に人権意識の普及高揚のため活動をこなしており達成できています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	阿波市の人権擁護委員は、9名と少人数で、阿波市全体を対象に効率的に活躍しています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	平成21年1月13日徳島法務局管内の徳島地区協議会に加盟し、広く他地域の活動を見聞したこと、また活動拠点の事務所的場所(吉野支所・旧水道課)を提供した事も自主的に、阿波市全体の人権意識の普及高揚のため、全力で活動しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	事務所を提供した事もあり、自主的に試行錯誤をし、より一層の活動をしています。人権啓発活動のネットワークを図ることからも、人権擁護委員活動と連携強化し、今まで以上の支援が必要と思います。					人権擁護委員活動は、活発に行われています。今後も継続して、取り組みを進めて下さい。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	3	基本事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	事務事業名	公会堂・老人ルーム管理運営事業	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月27日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田英司		シート作成者名	三橋徹也				
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input checked="" type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input checked="" type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1)人権教育・啓発推進体制の整備				<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等	公会堂・老人ルーム条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民											
		目的(どうい う状態に したいのか)	最終的	各行事・集会のため、会場を提供し交流することで人権意識の高揚を図ります。また、台風等災害時に避難場所として提供し市民の生命を守ります。											
			今年度	各公会堂・老人ルームにおいては、老朽化が進んでおり、破損箇所が多く見られます。各行事・災害避難安全に使用出来るよう年次的に修繕を行います。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	各施設を訪問・点検すると共に、管理人に修繕箇所等の報告依頼し、修繕順位を設定します。														
	破損箇所の早期発見。														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標						
	使用状況		使用回数・人数		回・名	目標	300回・2,000名	300回・2,000名	300回・2,000名	300回・2,000名					
						実績	168回・1,263名	251回・1,969人							
						目標									
						実績									
						目標									
実績															
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3 民生費		項	1 社会福祉費		目	6・7 老人ルーム・公会堂管理費		
	直接事業費			平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考								
		国庫支出金		千円	千円	千円									
		県支出金		千円	千円	千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		2,910 千円	2,964 千円	3,402 千円									
		計(A)		2,910 千円	2,964 千円	3,402 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.100 人	613 千円	0.100 人	604 千円	0.100 人	596 千円						
		臨時・嘱託職種													
臨時・嘱託工数・経費		0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
全体事業費(A+B)		3,523 千円		3,568 千円		3,998 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	地域の会合の場と人が交流する場所を提供することで人権意識の高揚を図ることが出来るとともに、台風等災害の際、避難場所を市民に提供することで、生命を守ることが出来ます。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	施設を修繕したことで、今まで使用していなかった公会堂を近隣の市民が清掃し、使用できる状態にし今後いろいろの会合に使用すると連絡があった。今後他の利用の少ない施設についても修繕することで利用度が上がります。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	施設が多いため、十分とはいえないが、年次的に修繕し市民の交流と地域の会合の場を提供します。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	予算にあわせ年次的に実施しています。ただ今後の公共施設の管理運営について、財政・市民の行政参加の視点から自主管理運営を検討すべきです。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input type="radio"/> 現状維持	<input checked="" type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	施設が多いことと、老朽化しこれまでも十分な補修ができていない為、より一層補修箇所が酷くなっている施設も見受けられます。全館で安全に使用出来るよう破損箇所の修繕が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	安全に使用できるよう年次的に、修繕していきます。破損箇所を早めに発見し修繕代を少なくします。使用度を上げるため、地域活性化事業等を利用し、講座等開設し、市民の利用できる機会を確保します。					設置目的である、地域集会所としての機能は果たしていますが、施設の修繕を行い、自主管理に向け、検討の必要があります。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	4	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	吉野中央・一条ふれあいセンター基本事業	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月21日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田 英司		シート作成者名	近藤 侑香				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3)隣保館事業の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして各種相談事業や人権問題の解決のための各種事業を総合的に行うことを目的としています。											
			今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての多様性を踏まえた隣保館活動を運営していきます。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	相談事業(職業相談・健康相談・生活相談・人権相談・教育相談)														
	地域交流事業(子供会活動・俳句同好会・将棋教室・書道教室・日本舞踊・パッチワーク教室・墨絵教室・カラオケ・料理教室・国際交流・健康器具活用)														
	啓発・広報活動(館だより発行・講演会外)														
	地域福祉事業(集団検診・食生活改善事業・生活環境改善事業・ボランティア活動・独居老人訪問)														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標					
	施設利用	年間のべ利用者数		人	目標		17,000	17,000	17000						
					実績		16,999	15,028							
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標		5,000	5,000							
					実績		4,667	3,916							
	広報啓発事業	年間実施回数		回	目標		12	12	12						
					実績		6	6							
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
	直接事業費			平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考								
		国庫支出金		1,707 千円	千円	千円									
		県支出金		854 千円	6,135 千円	6,995 千円									
		地方債		0 千円	千円	千円									
		その他特定財源		0 千円	千円	千円									
		一般財源		854 千円	991 千円	551 千円									
	計(A)		3,415 千円	7,126 千円	7,546 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.600 人	3,675 千円	1.000 人	6,044 千円	0.000 人	0 千円						
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長							
臨時・嘱託工数・経費		2.300 人	4,140 千円	2.000 人	3,600 千円	2.000 人	3,600 千円								
全体事業費(A+B)		11,230 千円		16,770 千円		11,146 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	各種相談所業に取り組んでいます。定期相談として健康・職業相談を実施しています。高齢者の健康管理や厳しい経済情勢の中、失業者には必要不可欠となっております。地域交流の場として多くの利用者が交流の輪を広げています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	地域住民にとって交流の拠点として、気軽に利用できる開かれたコミュニティ施設として有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	健康相談は健康推進課・介護保険課とも連携し、毎回相談者が増え健康管理意識が高まっています。また、職業相談も毎回多くの相談者が来館します。各種講座等への地域住民の参加を促すことにより、各種事業が達成できています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	住民相互の理解と交流が深まることによって、住民一人一人の人権意識が高まり他人の人権を尊重する意識が育まれています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	周辺地域を含めた地域づくりや住民の自主活動の支援や育成を図り、住民各層の連帯と交流の場として位置づけることが大切です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	日常の具体的な行事についても、参加と協力を得ながら効果的に実施します。					地域住民のニーズにあった事業に、継続して取り組んで下さい。						
	委員会指摘事項												

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	5	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	柿原ふれあい会館基本事業	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月25日		
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田英司		シート作成者名	近藤有香			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援				<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他				<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策		(3)隣保館事業の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティセンターとして、地域社会に密着し各種相談事業を総合的にを行い、人権問題に対する活動、解決することを目的とする。									
				今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての多様性を踏まえた隣保館活動を運営していきます。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	相談事業(健康、生活、人権、教育、職業相談)													
	地域交流事業(生花教室、書道教室、硬筆教室、館まつり、世代間交流)													
	啓発、広報事業(館だより発行、人権啓発ビデオ、人権パネル展)													
	地域福祉事業(独居高齢者訪問)													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標				
	施設利用	年間のべ利用者数		人	目標		2000	2000	2500					
					実績		1158	1897						
	地域交流事業	年間参加のべ人数		人	目標		300	300	300					
					実績		325	280						
	広報啓発事業	年間実施回数		回	目標		15	15	15					
					実績		13	13						
予算費目	会 計	一般会計				款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費
DO	直接事業費	平成 22 年度決算		平成 23 年度決算		平成 24 年度予算		備考						
		国庫支出金		1,877 千円		0 千円		0 千円						
		県支出金		938 千円		2,647 千円		3,087 千円						
		地方債		千円		千円		千円						
		その他特定財源		千円		千円		千円						
		一般財源		939 千円		797 千円		344 千円						
		計(A)		3,754 千円		3,444 千円		3,431 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費		1.000 人	6,126 千円	1.000 人	6,044 千円	1.000 人	5,961 千円					
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長						
		臨時・嘱託工数・経費		1.800 人	3,240 千円	1.000 人	1,800 千円	1.000 人	1,800 千円					
全体事業費(A+B)		13,120 千円		11,288 千円		11,192 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	相談事業をはじめ、啓発、広報や文化活動を実施しており、地域住民の活動拠点としての役割を果たす必要な場となっています。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	類似した事業はあるが、地域住民にとって、身近な施設であり相談、交流事業に利用しやすくなっているため、コミュニティの場として有効と考えられます。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	館まつり、地域交流事業では多数の参加・協力をしていただき地域に根付いた事業ができ、来館者はおおむね目標を達成していますが、外の目的での来館者は余りない状態です。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	小学校・ばあわーあっぷ、柿原ふれあいクラブとの連携で、効率的に運営しています。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 3	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	開かれたコミュニティセンターとして、市民(地域住民)に有効な活用が望まれます。地域住民より健康器具の設置の要望や、生活に関わる研修会等の要望もあるので、ニーズに応えられる館づくりが必要です。また、児童向けの講座も随時開催していき来館しやすい館づくりをめざします。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
改革案と実行計画	館の事業をととして地域をまわり、ニーズの把握や相談に応じていきます。独居老人世帯の訪問活動で、安否確認や相談に応じた有効なコミュニティセンターであるよう工夫していきます。					相談事業、地域交流事業等が実施されています。地域住民のニーズにあった事業を実施して下さい。							
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	6	基本事務事業名	隣保館運営事業	事務事業名	市場文化会館基本事業	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月26日			
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田英司		シート作成者名	岡田晴美				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託				
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		6. 共に生き、共に築くまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1)人権尊重社会の確立				<input checked="" type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(3)隣保館事業の充実				<input type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		市民(周辺地域住民)											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	人権尊重社会を確率するため、周辺地域とのふれあい交流と相談事業に取り組み、だれもが気軽に利用できる幅の広い交流の場として稼働率の向上を図ります。										
				今年度	隣保館が目指す「福祉と人権の町づくり」の拠点施設としての役割を訴えます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	各種相談事業(職業相談月1回、人権相談、生活相談等)を随時行います。														
	啓発、広報事業(パネル展、啓発講演、館だよりの月1回発行)を行います。														
	地域交流事業(生花、硬筆書道、ピジョン・ヨガ、カラオケ教室、人権問題学習、館まつり)の開催をします。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標					
	施設利用	年間のべ利用者数		人	目標	7000	7000	7500							
					実績	4551	3164								
	地域交流事業	年間参加延べ人数		人	目標	1600	1600	1800							
					実績	1723	1131								
	広報啓発事業	年間実施回数		回	目標	12	12	12							
実績					12	12									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	5	隣保館管理費	
	直接事業費			平成 22 年度決算	平成 23 年度決算	平成 24 年度予算	備考								
		国庫支出金		1,406 千円	0 千円	0 千円									
		県支出金		703 千円	3,068 千円	4,068 千円									
		地方債		千円	千円	千円									
		その他特定財源		千円	千円	千円									
		一般財源		704 千円	854 千円	531 千円									
	計(A)		2,813 千円	3,922 千円	4,599 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費		0.700 人	4,288 千円	1.000 人	6,044 千円	1.000 人	5,961 千円						
		臨時・嘱託職種		隣保館館長		隣保館館長		隣保館館長							
臨時・嘱託工数・経費		0.800 人	1,440 千円	1.000 人	1,800 千円	1.000 人	1,800 千円								
全体事業費(A+B)		8,541 千円		11,766 千円		12,360 千円									

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	隣保館の主軸的事业は相談事業ですが、住民が利用することによって、会話の中で相談窓口として役割を担っています。また地域に密着した施設として必要性は大きいです。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	地域交流事業をとおして、地域住民の交流を図り、参加者も増加しています。また外国人研修会もあり、国際的な交流の場として有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	H23年度は雪のため、館まつりでの来客者は減少したが、地域交流事業としての参加者は多く、概ね達成しています。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している		<input checked="" type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	小学校(ばわあーあっぷ)との連携、また保護者(人権問題学習会)等の利用により、人権意識が高まり他人の人権を尊重し、効率的に運営していると考えられます。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		<input type="radio"/> できる	<input checked="" type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等			
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止			<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止				
	当面の課題	地域住民の実態・ニーズを充分把握し、住民各層との連携と交流の場として位置づける必要があります。また貸し館として土・日曜日の夜が多く利用されています。今年度より夜間火・水・金に施設管理委託契約をしましたが、館の管理方法(鍵の安全性)が課題となります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	隣保館の主軸は相談事業なので、講演及び研修事業を実施し、その中で相談事業に応じていきたいと思えます。また地域住民と密着して日常的に維持管理を行います。					地域住民のニーズにあった事業を工夫し、利用者の増加を図って下さい。						
委員会指摘事項													

阿波市全庁評価シート 平成23年度実施事業対象

PLAN	No.	11	-	7	基本事務事業名	住宅新築資金等貸付事業	事務事業名	住宅新築資金等償還事務	公的関与	5	シート作成日	平成24年6月21日					
	部局名	市民部		課名	人権課		主務課長名	塩田 英司		シート作成者名	桜川 治子						
	事業区分	<input type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託						
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input checked="" type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		該当なし				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)						<input type="radio"/> 1 該当		平成		年	~	平成		年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策						<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等							
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		住宅新築資金貸付借入者													
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	貸付金全ての償還												
				今年度	償還率向上のための徴収強化												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	滞納徴収(催告書発送・電話催促・訪問徴収)																
	消し込み(徴収原簿・償還台帳)																
	補助金申請(補助金申請事務)																
	実績報告書作成																
	貸付事業償還状況調書作成																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	最終目標							
	貸付事業償還額	住宅新築資金償還額(現年度)			目標		4,077,000	4,000,000	2,200,000								
					実績		3,249,125	2,120,527									
	貸付事業償還額	住宅新築資金償還額(過年度)			目標		3,319,000	3,500,000	3,500,000								
					実績		3,512,184	2,856,292									
						目標											
						実績											
DO	予算費目	会 計	住宅新築資金等貸付事業特別会計				款	1 貸付事業		項	1 償還事業		目	1 償還事務費			
			平成	22	年度決算	平成	23	年度決算	平成	24	年度予算	備考					
	直接事業費	国庫支出金			0 千円			0 千円			0 千円						
		県支出金			1,478 千円			825 千円			70 千円						
		地方債			0 千円			0 千円			0 千円						
		その他特定財源			6,653 千円			4,977 千円			1,875 千円						
		一般財源			1,444 千円			1,197 千円			215 千円						
		計(A)			9,575 千円			6,999 千円			2,160 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.900 人	5,513 千円		0.900 人	5,440 千円		0.900 人	5,365 千円							
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)				15,088 千円			12,439 千円			7,525 千円						

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明			二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい	償還事務事業なので、多いに必要です。	<input type="radio"/> 少ない	<input checked="" type="radio"/> 大きい		
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		<input type="radio"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		<input type="radio"/> いる	<input checked="" type="radio"/> いない		
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる	償還事務事業なので、多いに有効です。	<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		<input type="radio"/> いえない	<input checked="" type="radio"/> いえる		
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		<input type="radio"/> する	<input checked="" type="radio"/> しない		
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input checked="" type="radio"/> できない	<input type="radio"/> できる		<input type="radio"/> できない	<input checked="" type="radio"/> できる		
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている	目標設定に達成しておりません。今後は債務者の納付意識欠如の改革と徴収強化が必要です。	<input type="radio"/> 目標に比べて劣っている				
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					<input type="radio"/> あまり上がっていない		<input checked="" type="radio"/> あまり上がっていない				
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					<input type="radio"/> 概ね達成している		<input type="radio"/> 概ね達成している				
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					<input checked="" type="radio"/> 十分達成している		<input type="radio"/> 十分達成している				
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当	システム導入によりコスト削減は見込めますが、隣保館業務も行っているため現在の人員等の状況では高い効率性は期待できません。	<input type="radio"/> 高い	<input checked="" type="radio"/> 適当		
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		<input checked="" type="radio"/> できる	<input type="radio"/> できない		
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		<input checked="" type="radio"/> ある	<input type="radio"/> ない		
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		<input type="radio"/> ある	<input checked="" type="radio"/> ない		
ACTION	一次評価					二次評価							
	評価点	必要性 4	有効性 3	達成度 4	効率性 2	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 2	効率性 2	総合評価 B		
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input checked="" type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 方法改善 <input type="radio"/> 廃止/休止	<input type="radio"/> 民間委託等			
	当面の課題	滞納者の返済意識が欠如しているため、償還に向けて意識の向上を図り収納率アップを目指します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
	改革案と実行計画	滞納整理を考える上で手法の変更など、今後は法的措置に向けて専門職が必要です。隣保事業と新築資金事業の両立は難しく専従の職員が必要です。					訪問徴収等の強化を図って下さい。						
委員会指摘事項													